

みずほCustomer Desk Report 2017/01/18 号(As of 2017/01/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	114.16
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	114.16	1.0605	121.02	1.0102	1.2041	0.7473
SYD-NY High	114.28	1.0719	121.38	1.0115	1.2416	0.7569
SYD-NY Low	112.60	1.0598	120.55	0.9997	1.2015	0.7465
NY 5:00 PM	112.62	1.0715	120.69	1.0019	1.2416	0.7568
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.795/13.52		△25RR	0.953	Yen Call Over	
NY DOW	19,826.77	▲ 58.96	債券市場	日本2年債	-0.2240	▲0.2bp
NASDAQ	5,538.73	▲ 35.39		日本10年債	0.0470	▲0.6bp
S&P	2,267.89	▲ 6.75		米国2年債	1.1524	▲4.1bp
日経平均	18,813.53	▲ 281.71		米国5年債	1.8192	▲7.8bp
TOPIX	1,509.10	▲ 21.54		米国10年債	2.3253	▲7.1bp
シカゴ日経先物	18,775	▲570.00		独10年債	0.3210	▲0.2bp
ロンドンFT	7,220.38	▲106.75		英10年債	1.3090	▲0.3bp
DAX	11,540.00	▲14.71		豪10年債	2.6980	0.1bp
ハンセン指数	22,840.97	122.82	為替市況	USD/CNH	6.8023	▲ 0.0571
上海総合	3,108.78	5.35		ドルインデックス	100.29	▲0.89
USDJPY 3M Vol	12.52	▲0.24%	商品市況	CRB指数	195.136	0.60
USDJPY 6M Vol	12.46	▲0.14%		NY金	1,212.90	16.70
EURJPY 3M Vol	10.63	▲0.28%		WTI	52.48	0.11
EURJPY 6M Vol	12.16	▲0.27%		Dubai Spot	53.90	0.84

東京	東京市場のドル円は114.16レベルでオープン。海外時間に英国のメイ首相が講演する予定であり、前日に続いてハードブレグジットへの警戒感や、米国のトランプ次期大統領によるドル高けん制への警戒感も燃る中、上値重く推移。114.00を下回った後に一旦は反発。114.28の高値まで強含む局面も見られたものの一段と上昇する動きとはならず、114円台前半で推移。午後に入って再び114.00を下回り、ドル円は113円台後半で推移。先週金曜日には2.40%近辺で推移していた米10年債利回りが2.36%近辺へと低下したことや、安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大させたことも相場の重石となった。ドル円は東京時間安値113.35をつけた後、結局113.45レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113.45レベルでオープン。東京時間の流れを引き継いで軟調に推移。米10年債利回りが2.32%近辺まで低下する中、一時113.00を割り込み、ロンドン時間安値112.73まで下落した。その後、買い戻しの動きが入り、113.50レベルまで反発してNYへ渡った。ロンドンドルは1.2112レベルでオープン。英国12月CPIは前月比+0.5%と予想(+0.3%)を上回る結果となったものの市場の反応は限定的。その後、英国のメイ首相からの「EU離脱を巡る最終案について、議会での承認を求める」等の発言を受け、交渉をめぐる不透明感が後退したとの見方も出る中、一時1.2347レベルまで急上昇。その後も堅調推移し1.2333レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	英国のメイ首相によるEU離脱についての講演を控えリスク回避の動きが強まり、海外市場のドル円は高値の114.28から112.73まで下落したが、最終案を両院の採決にかけるとの発表にハードブレグジット懸念が和らぎ、113.50レベルでNYオープン。朝方発表された米1月ニューヨーク連銀製造業景気指数は予想を下回ったが、市場の反応は限定的。またFRB要人のダドリー・ニューヨーク連銀総裁、ブレイナード理事から2%インフレに達成に関して前向きな発言が出たが、市場の反応は限定的。その後、週末に米紙のインビューでトランプ氏がドル高を米貿易赤字の理由のひとつとしてあげたこともあり、ドル売りが強まり113.00付近まで下落。午後米長期金利が下落したことや、金融セクターを中心に安寄りした米株が下落幅を拡大したことからドル円は安値の112.60まで下落。しかし昨年11月末以来となるこの水準では下げ渋り、112.62レベルでクローズした。一方ユーロドルは1.0684レベルでNYオープン。朝方は米長期金利の下落を受けて1.0717まで上昇。しかしその後はメイ首相の講演を受けてブレグジットに関する懸念が落ち着いたことから、1.0700を挟んでの狭い範囲での値動きが続き、1.0715レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:チャイ・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月17日	13:30	日 鉱工業生産・確報(前月比/前年比)	11月 1.5%/4.6%	-
	13:30	日 設備稼働率(前月比)	11月 3.0%	-
	18:30	英 CPI(前月比/前年比)	12月 0.5%/1.6%	0.3%/1.4%
	19:00	独 ZEW調査(期待/現状)	1月 16.6/77.3	18.4/65.0
	-	英 メイ首相 講演	-	-
	22:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	1月 6.5	8.5
	22:45	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-

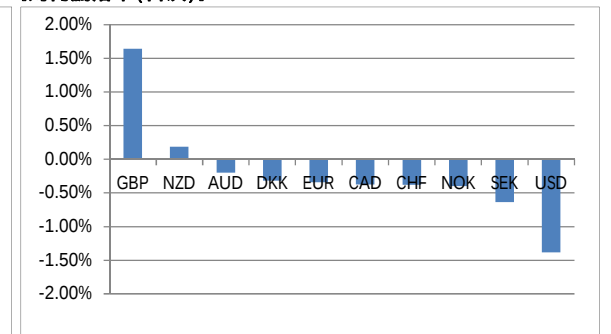
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月18日	16:00	独 CPI・確報(前月比/前年比)	12月 0.7%/1.7%	0.7%/1.7%
	18:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	11月 4.8%	4.8%
	19:00	欧 CPI・確報(前月比/前年比)	12月 0.5%/1.1%	-0.1%/1.1%
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	12月 0.3%/2.1%	0.2%/1.7%
	22:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	12月 0.2%/2.1%	0.2%/2.1%
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)/設備稼働率	12月 0.6%/75.4%	-0.4%/75.0%
1月19日	0:00	加 金融政策決定会合 翌日物貸出金利	- 0.50%	0.50%
	4:00	米 ペーリュック	-	-
	5:00	米 イエレン・FRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.50-113.50	1.0650-1.0800	119.50-121.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場ドル円相場は、アジア時間に続き円高の展開に。アジア時間は、トランプ次期大統領の国境税が複雑すぎるとの発言やドル高へのけん制に関する報道などを背景に、ドル円が急落し112円台後半まで下落する展開に。欧州時間に入ると、メイ首相が演説でEU単一市場から離脱する方針を表明。しかし、EU離脱について市場は既に織込済みであったことに加え、EU離脱案について議会採決に諮る方針を示したことを好感し、ドル円は一時113円台へ戻す展開に。米国時間に入ると、トランプ氏の国境税やドル高に関するコメントが再び意識される展開に、米株安、米債高となる展開にドル円は再び下値を試す展開となり、昨年11月末以来の安値となる112円60銭まで値を下げた。本日のドル円相場は、FRBイエレン議長の講演を控える中、トランプ氏の発言を背景としたドルロングのポジション調整が進行し、ドル円は軟調に推移するものと予想。